

報道関係各位

フォーデイズ、宮城県石巻市のバイオベンチャー「スメーブジャパン社」に出資支援～被災地支援の一環で「微細藻」培養第2号プラント設立をめざし雇用創出にも貢献～

フォーデイズ株式会社

核酸（※1）栄養の健康食品および化粧品を販売する国内ネットワークビジネス業界第4位フォーデイズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：和田佳子）は、このほど東日本大震災による被災地支援を目的として、宮城県石巻市のバイオベンチャー「スメーブジャパン株式会社」（本社：宮城県石巻市、代表取締役：原 芳道）に出資支援を実施しました。

支援内容は、スメーブジャパン社が事業を進めている日本初の微細藻「ナンノクロロプシス」（※2）の大量培養プラントとして、昨年8月開設の第1号モデルプラント（石巻市）に続いて第2号プラント（同市）本年7月着工に向けた出資協力（出資金額8,000万円）となります。このたびの新プラント設立のための出資協力は、産業空洞化に悩む被災地復興支援の要請を受けて、フォーデイズの社会貢献活動の一環として行なわれたもので、被災地での雇用創出に繋がることを期待しております。

スメーブジャパン社の第1号モデルプラントは、平成23年度農林水産省「緑と水の環境技術革命プロジェクト」の実証プラントとして事業化されたものです。同プラントで生産される微細藻「ナンノクロロプシス粉末」は、各種栄養成分を豊富に含むホールフーズ素材として一般食品、栄養補助食品用途にて昨年9月から原料販売を開始しました。「ナンノクロロプシス粉末」は、ビタミン、ミネラル、優れたアミノ酸組成を有するとともに不飽和脂肪酸「EPA」（エイコサペンタエン酸）、「POA」（パルミトレイン酸）などを多く含み、海洋植物性のマルチビタミン的素材として注目されるだけでなく、多くの機能性食品などへの応用の可能性を広げております。

さらにスメーブジャパン社の微細藻培養技術の将来展望としては、「千年後の人類のため、化石燃料が残っているうちに」を合言葉にして2014年度中にも「ナンノクロロプシス」から油を抽出する実証実験を予定しております。火力発電設備から排出されるCO₂の再利用も可能なことから、環境保全に貢献しながら微細藻培養の低コスト化を進めることによりバイオエネルギーへの変換技術開発も視野に「バイオ燃料」を生産するための技術の確立もめざしています。

フォーデイズでは、主力製品「核酸ドリンク」の販売を通して人々の健康促進に寄与するだけでなく、現在も不安やストレスを抱える被災地の子どもたちの心のケアをするために呼吸神経生理学の権威・昭和大学名誉教授、東京有明医療大学副学長の本間生夫

教授とともに、昨年 10 月 NPO 法人「安らぎ呼吸プロジェクト」を設立しました。今回の被災地での出資協力による雇用創出支援とともに、東北被災地では今後より一層の社会貢献活動を加速させる所存です。

—記—

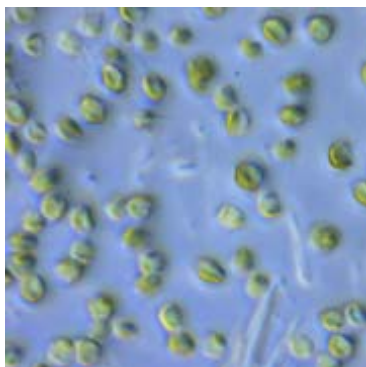
1. 支援先名称：「スメーブジャパン株式会社」
2. 支援内容： 株式800株、出資金額8,000万円

※ 1 「核酸」とは

遺伝子の情報は細胞の核内に存在する DNA に書き込まれており、その情報を RNA が写し取ってさまざまなたんぱく質を合成しています。DNA と RNA は核内にある酸性の物質ということで「核酸」と呼ばれています。

※ 2 「ナンノクロロプシス」とは

微細藻ナンノクロロプシス (Nannochloropsis) は、2~5 ミクロン (μm) ほどの小さな藻類です。光合成をしながら海を漂うプランクトンで、日本ではかねてより稚魚養殖で用いられ「海産クロレラ」とも呼ばれていました。クロレラのように緑色の球形で、見た目がよく似ているためです。実際には、クロレラとは異なるグループの藻で、クロレラが「緑藻植物」というグループに属しているのに対し、ナンノクロロプシスは珪藻などと同じ「不等毛植物」というグループに入ります。スメーブジャパン社は、この藻の低温環境下でもよく増殖し油分を多く貯める特性を生かし、食品グレードの CO₂ を原料として高品質で安全な藻の生育に成功。石巻市「マリンバイオマスタウン構想」との連携で、他社の円形マリンタンク方式に対して、日本初のレースウェイ方式による屋外大量培養事業をはじめました。



微細藻「ナンノクロロプシス」



日本初レースウェイ方式の第 1 号モデルプラント (石巻市牡鹿半島の清崎地区)

■「スメーブジャパン株式会社」企業情報

会社名：スメーブジャパン株式会社

所在地：〒986-2527 宮城県石巻市十八成浜（くぐなりはま）清崎山1番地21

代表者：原 芳道

設立：2009年7月

資本金：2億0,426万円（2013年12月1日現在）

企業情報：

スメーブジャパン社では、微細藻の大量培養で世界をリードするイスラエル技術の導入により、微細藻の最先端技術で環境配慮など社会的意義のある可能性をめざしています。一方、独自の技術によりオメガ3脂肪酸「EPA」などの含有率の高い微細藻を短期間で効率的に生産することで、薬品、健康食品、水産養殖飼料、動物飼料など幅広い利用が期待されております。さらには火力発電設備から排出されるCO₂を再利用して環境保全に貢献しながら、微細藻培養の低コスト化を進め、バイオエネルギーへの変換技術により微細藻から「バイオ燃料」を生産するための技術の確立も推進しています。

■「フォーデイズ株式会社」企業情報

会社名：フォーデイズ株式会社

所在地：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21

代表者：和田佳子

創業：1997年4月

資本金：4,500万円

企業情報：

従来の「ネットワークビジネス」という流通形態の問題点や誤解をクリアするために、すべての会員（愛用者）様との受注・発送・集金はフォーデイズが直接行なうという流通スタイルを確立しました。これにより紹介者はもとより流通在庫がほとんど無い販売形態を構築。会員（愛用者）様参加型でありながらダイレクト通販型ビジネスモデルとの融合を実践しております。主力製品の核酸ドリンク「ナチュラルDNコラーゲン」は、人の細胞の中に存在し健康と若さに役立つといわれる栄養素「核酸」に注目し、1999年12月に販売を開始、以後、現在に至るまで5度の改良を施しました。2013年3月期の会員数は29万人を超え、売上高358億円と13期連続の増収を更新。核酸栄養のリーディングカンパニーとして健康食品と化粧品市場を牽引中。

今回の資金的支援は、昨年10月の佐賀県鳥栖市「九州国際重粒子線がん治療センター」（サガハイマツト）および昨年3月に遺伝的な難病「鎌形赤血球症」の治療新薬を開発している米国創薬メーカー「エマウス・ライフサイエンス社」（本社：米国カリフォルニア州トーランス市）への出資協力などに続くもので、社会的にも意義のある支援活動の一環として行なわれたものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

フォーデイズ株式会社 TEL：03-5643-0761（直通）

広報室：小松、加藤、熊本

Mail：komatsu@fordays.jp kato@fordays.jp kumamoto@fordays.jp